

# 火山性ガラス質複層板突き板貼り仕様 取扱説明書

## ■注意事項

- ・水濡れや湿気の多い場所では使用しないでください。
- ・商品の特性上破損しやすいので取り扱いに注意をお願いします。

## ■下地条件

- ・下地材の選定と構造が建築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合したものであるか、ご確認ください。
- ・モルタル面への直貼りは、下地水分による変色・劣化の恐れがありますので避けてください。

## ■施工方法

- ・コニシ(株)のボンドTM工法をお薦めします。  
(ボンドTM工法は、特殊両面粘着テープ(TMテープR1-25)と接着剤(MPX-1)を使用し、下地材に接着固定する方法です。
- ・釘止めでは商品の性質上、下地材に固定できません。

## ■施工手順

### ①下地の確認と清掃

- ・下地は不陸のないように仕上げてください。
- ・下地表面のゴミ・油・サビなどをよく落とし、十分に乾燥させてください。  
水気が残っているとシミが出る場合があります。

### ②墨出し・割付け

- ・壁材の寸法・形状に合わせて、下地に墨出し、割付けを行います。
- ・下地または化粧材に「TMテープ」の貼り合わせ位置、接着剤「MPX-1」の塗布位置を決めます。

### ③「TMテープ」の張り合わせ

- ・化粧材裏面のあらかじめ定めた位置に「TMテープ」を貼り合わせます。
- ・貼り合せた後に、十分に化粧材と圧着してください。  
※「TMテープ」の粘着面には直接手などをふれないでください。  
※一度剥がしたり、剥がれたりした「TMテープ」は再利用せず、必ず新しいものを使用してください

### ④「MPX-1」の塗布

- ・化粧材裏面のTMテープ間に「MPX-1」を塗布します。  
原則としてビート状(綿状)塗布を行います。  
※塗布量を確保するために、ノズル先端は2方向からカットしてください。  
※いったん硬化した接着剤は有機溶剤で取り除くことはできません。  
化粧材の表面などに付着した場合には速やかに乾いた布または少量の有機溶剤を含ませた布で拭き取ってください。なお有機溶剤を使用する場合には、化粧材表面に影響が出ないか確認の上ご使用ください。

#### ⑤「TMテープ」の剥離紙の除去

- ・「TMテープ」本体が接着面から剥がれないように注意しながら剥離しをはがしてください。

#### ⑥化粧材の貼合わせ

- ・化粧材を所定の位置に貼合わせます。
  - ※化粧材の貼合わせは接着剤(MPX-1)塗布後10分以内に行ってください。
  - ※一度貼合わせた化粧材は、ずらしなどの位置修正はできません。
  - 化粧材の上から「TMテープ」の位置を十分に加圧し、下地面と密着させます。
- ・基材の特性上破損しやすいので出隅部分に木材等のコーナー材を必ず使用してください。
  - 巾木部分についても、出巾木による施工をしてください。

#### ■養生

- ・接着剤(MPX-1)が硬化する間(23℃の場合24時間)養生します。
- ・接着後は傷がつかないように、ダンボール、合板、養生材等で化粧材を保護してください。
- ・養生テープは商品に直接貼らないでください。(塗膜・単板剥がれの原因となります。)
  - やむをえず養生テープを使用する場合は、マスキングテープを貼り、その上から養生テープを貼ってください。
- ・無塗装商品には直接養生テープやマスキングテープを貼らないでください。
  - テープの粘着剤が商品に残り、取れなくなる場合があります。

その他ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

株式会社 オムニツダ  
〒460-0011  
名古屋市中区大須4-9-21  
TEL (052) 242 4105  
FAX (052) 242 4114